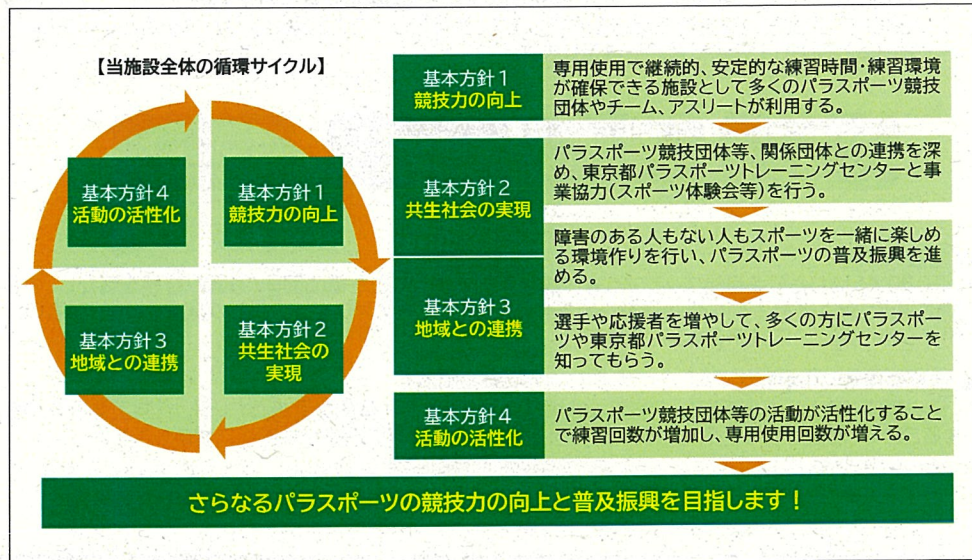


東京都パラスポーツトレーニングセンター 事業計画書の概要

管理運営の基本方針

東京都スポーツ推進総合計画の「スポーツの力で東京の未来を創る」という基本理念のもと「だれでも、いつでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができるスポーツ都市東京を目指します。

当施設はパラスポーツの競技力向上の拠点として、競技団体やチーム、アスリートが安定的、継続的に練習できる環境を整えていきます。加えて、障害のある人もない人もスポーツを楽しむことができる、パラスポーツの普及振興の場としての役割を果たします。



施設の提供、運営に関する業務

■ 開業に向けての準備内容やスケジュール

構成団体は、多目的スタジアムの管理運営を20年以上行っています。また、施設維持管理業務を委託する施設管理共同企業体(以下、「施設管理JV」という。)はスタジアム内の東京都施設の施設維持管理業務を現在も実施しています。

- ① 万全な開業準備を実施
- ② 経験豊富な職員による研修・教育
- ③ 民間施設目線でのきめ細やかな運営体制と公の施設としての安定した運営
- ④ 開業前の防災訓練による安全管理の徹底

■ 施設の使用に関する業務の実施方針

- ① 専用使用
公の施設としての公益性及び公平性を確保するとともに、施設経営の効率性に配慮しながら必要な調整を行います。
- ② 個人使用
トレーニング室については、専用使用と個人使用を併用し、利用が重複する場合は、安全面に配慮し、利用者のニーズに合わせて運用します。

■ 休館日及び開場時間

使用ニーズに的確に応じた休館日及び開場時間の設定を行います。

- ① パラスポーツの競技力向上のための安定的な練習時間と練習場所の確保を踏まえて休館日の設定します。
- ② 利用者の練習時間の確保においてゆとりある利用が可能な退館時間を設定します。

■ 利用料金

公の施設として、本施設の利用料金は、専用使用、個人使用ともに東京都体育施設条例の規定に基づいて設定します。

■ トレーニング室運営業務

専用使用も個人使用もできる施設として、パラアスリート等の競技力向上を強力にバックアップします。

- ① 経験豊富な業務従事者の選定
- ② 効果的なトレーニングのための利用調整と環境作り

■ 受付案内

代表団体の障害者専用スポーツ施設の運営実績を基に、全ての利用者に対して親切でわかりやすい「受付案内」と「相談対応」を行います。

- ① 障害のある人への受付案内
- ② 様々な利用ニーズに応える総合窓口
- ③ 東京都障害者総合スポーツセンター、東京都多摩障害者スポーツセンターとの連携
- ④ 自家用車等による来館者への対応

■ 苦情・要望等に対する対応

利用者の声に耳を傾け、施設運営の改善に努めます。

- ① トラブルの未然防止
- ② サービス充実に向けた取組

施設の事業に関する業務

■ スポーツ振興事業

東京都スポーツ推進総合計画の「スポーツの力で東京の未来を創る」という基本理念のもと、障害のある人もない人もスポーツを楽しむ「スポーツ都市東京」を目指し、スポーツの力による共生社会の実現に向けて取り組みます。

- ① パラスポーツ競技団体やチーム、アスリートが競技力向上を目指す事業の実施
- ② 障害のある人がスポーツに取り組みやすいスポーツ教室を実施
- ③ 障害のある人もない人も一緒に参加できるパラスポーツ体験会の実施
- ④ 多様なパラスポーツクラブやボランティア人材等の協力のもと実施するパラスポーツ体験等プログラム



■ スポーツの日記念事業

味の素スタジアムと武蔵野の森総合スポーツプラザと連携し、周辺一帯でスポーツの日記念事業を開催します。当施設の付加価値を活かし、東京2020大会のレガシーとなる事業を展開します。

- ① 実施方針の実現に向けた具体的な事業内容



車いすラグビー



ゴールボール



サウンドテーブルテニス



車いすフェンシング

- ② 地域のネットワークを活かした、広域への広報

東京都パラスポーツトレーニングセンター 事業計画書の概要

施設の事業に関する業務

■ 自主事業

施設の特性や近隣施設を活用し、都民に対して新たな体験を提供するための魅力的なプログラムを展開します。利用を促進することで、施設の有効活用を図ります。競技力向上のプログラムとしても提案を行い、実施します。勤務体制は通常営業時と同じ人員配置とし、専用使用・個人使用と並行して実施することで、施設収益力をアップさせます。

- ① 味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザとのパッケージプランを展開
- ② 団体のニーズに合わせて、専属スタッフが対応
- ③ 競技力のさらなる向上を目指した事業の実施
- ④ 東京CUP卓球大会の開催
- ⑤ 開業イベントの実施

■ 周辺連携事業

周辺地域や団体とのネットワークを活用し、パラスポーツの競技力向上と普及啓発を実現させるため、イベント等を開催します。

- ① サッカー(フットサル)教室の開催
- ② バドミントン教室の開催
- ③ オリリンピック・パラリンピックパークとして近隣施設とのイベント開催
- ④ 研修や講習会の開催



■ 利用者に対するサービス提供事業

パラスポーツ競技団体やチーム、アスリートの利便性を高めるサービス提供に努めるとともに、施設の利用者が快適に過ごせるような環境作りを目指します。

- ① 個人ロッカー、団体ロッカーの設置
- ② 自動販売機の設置
- ③ 子育て世代の利用促進
- ④ 近隣福祉施設のケータリング販売
- ⑤ 補助犬用トイレの設置

■ 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組

当施設ではパラスポーツの楽しさや魅力を多くの都民に届けるため、18施設とのネットワークを活用し、情報発信やノウハウの共有を行っていきます！

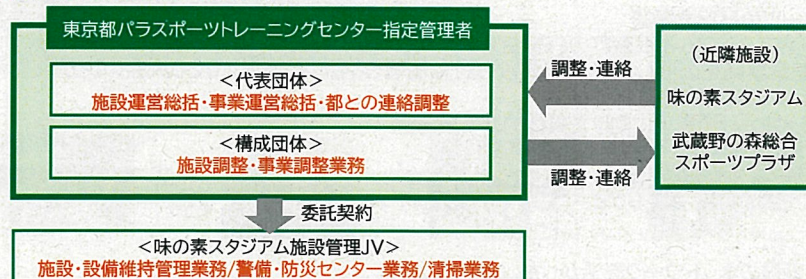
組織及び人材

■ 効果的かつ効率的な組織体制の確保

業務ごとにライン化した組織体制とし、責任範囲を明確にします。その明確な責任分担に基づき、それぞれの責任者の指示・安全管理等により適切に業務を遂行し、効率的・効果的な施設運営を行います。構成団体の適性や実績を活かした業務体制を構築していきます。

- ① 代表団体の経験と知識を活かした事業運営、接遇研修や人材育成
- ② 構成団体の適性及び実績による、スムーズな施設立ち上げと専門性の高い人材配置
- ③ 味の素スタジアムのイベント等との円滑な調整

■ 具体的な運営体制(組織図と業務分担)



施設の管理に関する業務

■ 施設、付属設備及び物品の維持管理

多目的スタジアムの施設、設備及び物品の維持管理を20年以上継続して行ってきた構成団体のノウハウを活用し、味の素スタジアムと一部設備等を共有する当施設の安全・衛生・機能を確保し、一体運営のメリットを活かして適切な管理を行います。

- 20年以上にわたり構成団体とともに多目的スタジアムの維持管理業務を継続して行ってきた施設管理JVに当施設の維持管理業務を委託します。長年培ってきた経験とノウハウを活かしながら、代表団体と協力して確実に業務を遂行します。



■ 施設の修繕

20年以上にわたり多目的スタジアム等の日常管理を行ってきた構成団体の知識・経験を活かし、中長期的視点に基づく計画的な修繕作業を実施するとともに、味の素スタジアムとの連携や、地元業者の活用による迅速な対応体制を構築します。

■ 危機管理及び災害対応

地元警察・消防との信頼関係が強い味の素スタジアムと一体的な警備体制、防火・防災体制を構築することで、想定される危機を未然に防ぐとともに、災害時等に迅速かつ適切に対応します。

収支計画

■ 収益向上に対する考え方

体育施設利用料金収入について、パラスポーツの拠点としての機能を確保しつつ安定的な収入確保を実現します。

■ 支出削減に対する考え方

初期段階でのデジタルトランスフォーメーションへの十分な投資と運営体制の構築を実現し、消耗品費やランニングコストの低減を図ります。

■ 都からの委託料(指定管理料)の削減額

令和5年度から9年度の5年間で、2,016千円の削減を見込みます。

■ 収支計画を上回る利益が発生した場合や収支に赤字が発生した場合の取扱い

東京都へ提出する収支計画を上回る利益が発生した場合は、一定額を将来の赤字に備えて積立てた上で残額全額を翌年度に繰越し、設備、事業及び職員の人材育成に投資することで施設サービスの一層の充実を図ります。